

豊かな心

特定非営利活動法人ぽてと to 地域福祉の会
河端幸男

どんなに技術が進もうとも人間の「心」は、あまり変わるものではないと思っている。変わりようはないのかも知れません。そこを変えようとするからいろいろな問題が生じてくるのではないのでしょうか。

人間は、善を行う道徳的なものを生れたときすでに身にそなわっているとされています。心の豊かさとは何なのだろうか。現代は、物欲からくる人間の身勝手な考えや行為からいろいろな問題が発生しています。複雑な時代背景とともに性善説から性悪説へと荒んだ社会でもあります。また、時代とともにその過ちも変わりつつあります。

そこに、介在するのは本来もっている心のあり方だと思います。どこに拠り所を持つのかは、人によって変わります。自分と向き合いどうあるべきかをしっかり自問自答することから自制することの必要性をもっと持って欲しい。そこから何ができるのか、どうすれば良いのか生れてくるのではないのでしょうか。物事を他に転嫁しようと外に向かいがちですが、自分の成すべきことをしっかり見据え、努力しなければならない。生きている限りは、避けられないことである。

人生 80~90 年いくつになろうとも判らないことばかりです。永遠のテーマとっております。得手不得手は、誰でも持ち合せております。何のために人間は生まれてきたのか、持っている得手を活かさない手はありません。何も、財物があつての豊かさではなく、豊かな心を持ちながら、できる限りプラス志向で生きたいものです。



わたしの出会ったなかまたち 1

ぼてと工房 施設長 小泉美佐子

今号からは、これまで私が出会ったハンディを持つすてきななかまたちの魅力を探り、紹介していこうと思います。なかまの殆どの人は今も作業所等に通り元気に働いていますが、長く病氣療養中の人や家族と離れ遠くの施設に移り住み、心機一転し新たな生活を始めた人もいれば、いつの間にか引っ越して残念ながら音信不通となった人もいます。

まずは、Aさん。彼女が高校1年生の時の初めての現場実習が初対面だったので、かれこれ9年近くの付き合いになります。Aさんと同じタイプのハンディを持つ人達には共通して、人をホッとさせる温和な人が多いのですが、Aさんも例に漏れませんが、愛くるしい、はにかんだ笑顔でゆっくりと大きな声で自己紹介の挨拶をしてくれたのが昨日の日のことのように。ちょっとした事では動じない、なかなか胆のすわったマイペースなところは始めの頃も今も同じです。愛情深く育てられたことの証拠でしょう。

Aさんはロマンチックで芸術家肌。きれいなもの、可愛いものを見ると心の底からうれしさを全身で表します。土産物屋で買った大きな巻貝を耳にあてては「海の音がする」と云います。もちろん、カラカラに乾いた貝殻から波の音が実際に聞こえるわけではありませんが、彼女の想像力と素直な表現力に周囲の人間はうっとりさせられてしまいます。逆に彼女のおおらかな性格は怒りを外に出すことはめったにありません。だれよりも感性の豊かなAさんです、悲しい時にはもちろん涙を流すこともありますが、その笑顔はまるで、怒るという感情を持ちあわせてはいないのでは？と周囲が錯覚してしまうほどの満面の笑みなのです。天性のおおらかさによって、たいていの事は気にせず動じずやり過ぎせるのかも知れません。ここが彼女の、他の人にはなかなか真似のできない、最高の魅力であり、誰からも愛される所以なのでしょう。

ところが私は以前、このAさんが傷つき、表情がこわばってしまう場面に出くわした事があります。彼女のお気に入りのお兄さん職員とAさんとの二人しか知らないはずの楽しい話（内容は忘れてしまいましたが）がうっかり公表されてしまった時のことです。勿論、優しい若い職員には何の悪気もありませんでしたが、彼女の人格の中の一人の女性部分を見落とすという失敗を私たち職員はしてしまったのです。彼女の動揺した悲しい表情は長くは続かず、すぐに元の笑顔に戻りましたが、思い出すと胸がチクリとする出来事した。今でも私の中で苦い反省として強く残っています。

今日もAさんたち、なかまの屈託の無い笑顔に会えると思うと朝が楽しくなります。

ぼてと工房活動報告

平成26年3月～7月

- 3月25日(火) メンバーズミーティング
 26日(水) ケース会議(坂戸市ケースワーカー来所)
 27日(木) 坂戸市障害者スポーツ大会打ち合わせ
 28日(金) つうしん印刷、発送 利用者期末ボーナス支給
- 4月 2日(水) レク お花見(太田ヶ谷公園)
 10日(木) 利用者給料日 ケース会議(坂戸市役所相談室)
 11日(金) 近隣施設交流会なかま・職員会議(中央公民館)
 12日(土) 定例会 前半:報告 後半:「ぼてとの今後を考える会」
 14日(月) 喫茶特別メニュー
 16日(水) メンバーズミーティング
 26日(土) NPO ぼてと to 地域福祉の会定期総会(千代田公民館)
- 5月 8日(木) 坂戸市障害者スポーツ大会打ち合わせ
 9日(金) 利用者給料日
 10日(土) 定例会 前半:報告 後半:「ぼてとの今後を考える会」
 14日(水) 川越特別支援学校保護者説明会
 15日(木) 保護者面談 ~23日(金)
 19日(月) メンバーズミーティング
 23日(金) 喫茶特別メニュー
- 6月 5日(木) 坂戸市障害者スポーツ大会打ち合わせ
 8日(日) 鶴ヶ島リサイクルマーケット(市役所駐車場)
 14日(土) 定例会 前半:報告 後半:「ぼてとの今後を考える会」
 15日(日) 坂戸市障害者ふれあいスポーツ大会(坂戸市総合運動公園)
 17日(火) 喫茶特別メニュー
 19日(木) メンバーズミーティング
 20日(金) 近隣施設交流会職員会議(ほのぼの)
 26日(木) 福祉であいの広場第1回実行委員会(福祉センター)
 27日(金) PMレク プール&ヨガ(サンテ坂戸)
- 7月 8日(火) 毛呂山特別支援学校保護者説明会
 10日(木) 利用者給料支給
 11日(金) 喫茶特別メニュー
 12日(土) 定例会 前半:報告 後半:「ぼてとの今後を考える会」
 17日(水) 福祉であいの広場第2回企画部会(福祉センター)
 18日(木) 利用者夏期ボーナス支給 検便容器配布
 22日(火) 新職員出勤
 23日(水) PM メンバーズミーティング
 24日(木) 検便容器回収切 送付
 25日(金) PMレク プール&ヨガ(サンテ坂戸)

私立精神科病院の病棟・病床をグループホームや老人ホームなど居住の場に転換する構想が、厚生労働省の有識者会議で検討され、論議を呼んでいる問題について

現在の日本の医療施設の病床数は何床なのでしょう。2012年(平成24年)の厚労省の医療施設統計調査によると1,703,950床です。内訳は、病院の病床が1,578,254床で、一般診療所は125,599床、歯科診療所は97床です。さらに病院の病床を種類別にみると、「一般病床」は898,166床(病院の全病床数の56.9%)で、「精神科病床」は342,194床(同21.7%)、「療養病床」は328,888床(同20.8%)です。一般診療所の「療養病床」は13,308床です。精神科病床は1950年(昭和25年)の1万8千床が、高度経済成長期には1年間に1万床ずつ増加し続け、1969年(昭和44年)には約25万床、そして2012年(平成24年)には34万床となっています。この時期に開院した精神科病院は主に私立病院です。ちなみに世界全体の精神科病床数は約185万床です。日本の精神科病床数は世界全体の精神科病床数の実に約5分の1を占めている異常な状況になっています。

この国際的に奇異の目で見られる日本の精神保健政策の源流をたどると、上記の数字が示すように、まさに私立精神科病院「大濫造」に行き着きます。その発端は1958年10月2日に厚生省事務次官通知により、精神科の人員は一般診療科に対して、医師数は約3分の1、看護師数は約3分の2を基準とする特例基準が認められ、更に同年10月6日の医務局長通知で、事情によってはその特例基準の人員数を満たさなくともよいことになりました。そのため、一般診療科の病院よりも人件費を抑えることができ、さらに、措置入院の国庫負担も5割から8割に引き上げられたことで、一般診療科と比較して精神科病院の経営が容易となりました。

そして世界に例のないこの「大濫造」の道を決定的にしたのは、故・武見太郎日本医師会会長です。それは1960年(昭和35年)年7月に始まった医療金融公庫の融資です。大蔵省は一業種への公的特別融資に反対でしたが、武見の盟友だった佐藤栄作、保利茂、大野伴睦ら政界有力議員の後押しで、この制度は誕生しました。この制度のおかげで病院建設自体が容易になったのです。しかし、急増した精神科病院に勤務する医師のほとんどは、内科医や産婦人科医からの転身でした。精神科病院は内科や産婦人科よりも利益率のよい事業となり、医師たちは診療科を精神科に変更したのである。宇都宮事件で有名な宇都宮病院もこの時期(1961年)に内科から精神科へ事業を変更していました。

精神科病院の人員が一般診療病院よりも少ない人員でその運営が成り立つ要因として、1950年に、もともとは抗ヒスタミン薬として開発されたクロルプロマジンの存在が大きいです。1952年にクロルプロマジンがドーパミンを遮断する効果があることが発見されました。これを機に、向精神薬などの開発が活発となり、薬物療法により統合失調症の治療が可能となりました。クロルプロマジンによる薬物療法が行われる以前は、興奮する患者に対処するためには拘束衣や拘束器具を使用した物理的な拘束などや医療従事者による対応によって対処する以外に方法がなく、病院の設備や職員などに対して経費がかかり病院経営上の負担となっていました。しかしクロルプロマジンなどの薬物で患者の興奮状態を抑制することができるようになると、少ない病院職員で多数の患者の管理が可能となり、運営の経費が少なくて済むとともに病床数が多いほど利益を上げられる構造になったのです。しかし、精神科医としての実力が伴わない医師でも精神科病院を運営することが可能な状況と、精神医療の現場の劣悪さは、故・武見太郎日本医師会会長をして、「私立精神科病院は牧畜業者」と言わさせしめ、この言葉は、日本の精神保健の貧しさ、異様さを語る

文章には必ずといっていいくらい引用される歴史的名言となりました。

そして、日本の精神保健＝収容ビジネスという構造は堅牢となり、現在も脈々と引き継がれています。日本の精神保健は半世紀も前から今日まで、病院経営の都合が第一、患者の身の上は二の次です。この優先順位は変わっていません。WHOのクラークは40年前に言っていました。「日本の行政機関は精神科病院をコントロールできていない」と。厚生労働省は2004年の「精神保健医療福祉の改革ビジョン」で、退院可能な長期入院患者7万2千人を10年後に解消すると宣言しました。しかし、目標年である今年を迎えても状況は変わりませんでした。

そこで厚生労働省は、有識者検討会の報告書を受け、精神科病院の病棟の一部を改装して介護施設などの「居住系施設」に転換し、退院した長期入院患者の受け皿とする構想を認める方針を打ち出しました。しかしその構想はまさに日本精神科病院協会（日精協）の方針でした。

そもそも検討会の出発点は、医療の必要性が低いのに病院にとどまる「社会的入院」の解消を目指すとともに、患者が地域生活に安心して戻れるよう、必要な支援や対策を議論することでした。にもかかわらず途中で、退院が増えれば経営が苦しくなるとの病院側の論理に偏り、空いた病棟を「有効活用」という日精協の方針が構想として急浮上しました。グループホームなどに転換した病棟に、入院患者が移れば退院とみなす。病棟・病床を居住施設に転換することによって入院者を退院者と読み替え、長期入院を数字上解消させる狙いがあるのであれば、この手法は、長期入院の実態を覆い隠す隠ぺい工作にすぎません。いったん住居への模様替えに資金が投入されれば、満室を目指してフル活用されることでしょう。利益を上げるため、また病院による患者の囲い込みが行われるでしょう。新たな社会的入院を国が容認するなら、長年の精神障害者隔離政策への反省を忘れ、再び過ちを犯すことになるでしょう。長期入院の解消は、病院経営の支援や財政負担軽減の観点で論じる以前に、患者の人権を優先にして取り組むべき課題のはずです。

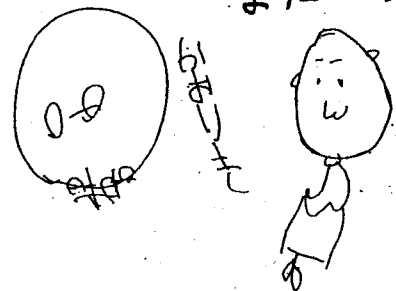
入院が長引くと患者は意欲や生活能力をそがれ、医師らに追従する「施設病」にかかります。この悪弊を絶ち、病院から患者を解放し、地域での自立生活と社会参加を支える。日本が批准した障害者権利条約の理念こそ、精神医療改革の土台にするべきです。日本が障害者権利条約を批准したのは今年の1月です。障害のあるすべての人に「地域社会で生活する平等の権利」などをうたう条約の理念を、批准した途端に踏みじめることは許されるはずがありません。世界の障害当事者共通のスローガンは「私たちのことを私たち抜きに決めないで」です。

この厚生労働省の認めた構想に反対する緊急集会が去る6月26日に東京の日比谷野外音楽堂で開かれ、全国から約3200人が参加しました。元入院患者、支援団体の関係者らが報告やリレートークを行い、「病棟の居住系への転換は病院経営のための看板の掛け替え」などと批判しました。

集会では「病棟転換型居住系施設は、人権をないがしろにする、あってはならない施設。構想の検討をやめ、社会資源や地域サービス構築を急ぐことを求める」とする緊急アピールを採択し、厚生労働省に提出しました。しかし、その声は聞き届けられませんでした。今回の病棟の居住系転換容認への、長期入院患者自身や障害者団体からの抗議の声に、厚生労働省は真摯に耳を傾けなければならないと思います。そうでないと世界中に恥をさらすことになってしまうでしょう。(T.I)



私はダン
やりまし
カードが
またやり



交流会

PKサッカーをしました。

1対2とは、1位でしたかい
ふせんバレーで2人組を
2回やってまけました。総勢の
言葉を上手に、出来ました。

長峰 謙一

福田彩乃さんりん施設交流会
で前半は、ボウルの競技
でボールを転がすのをや
りました。前半は、勝ったの
でとてもうれしかったです。
パン食い競争で私はとて
も苦手で職員と一緒に
しました。1対2とは準決
勝でとてもやさしかった
けど、来年はほのおに
対する様に球リベジした
です。

しせつ交流会

PKサッカーをして、はく
けて、とてもよかったです。
ふせんバレーをやって、
ほつとまけてしまいました。
AKB48のこのするおたん
おどろ、とてもたのしかった。
ほつと工房 準優勝でした。
また、来年は優勝したいです。
みんな、ITがな、おめでとう
とてもたのしかったです。です。
いい交流会でした。太橋 弘



木平美幸



11/28

又とカードゲームとしんぶんしを
楽しかった。

ゲームをしました。

はいです。 田辺友美



年がたち



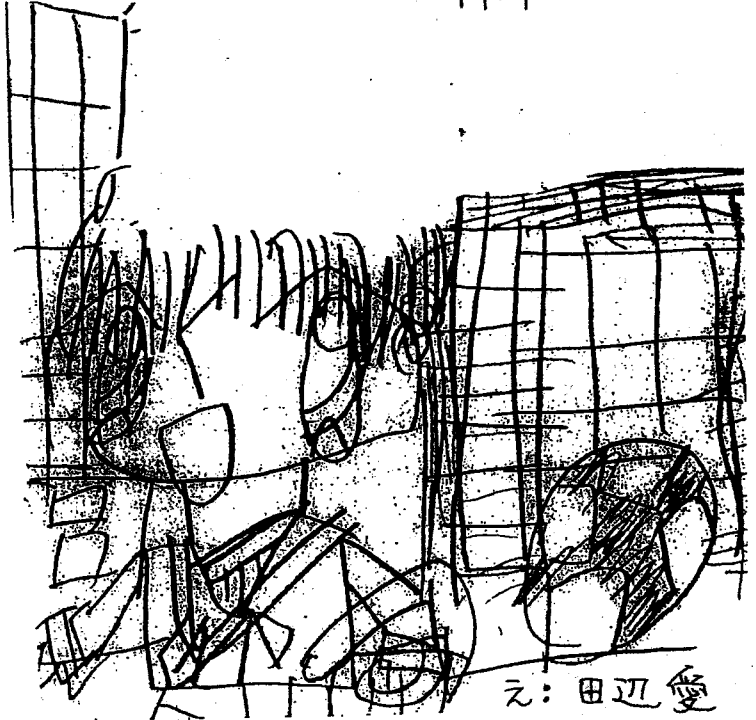
力をあつてきた



成長した

え：太田雅彦

ふんぬいスポーツ大会について
ボッチャとボールゲームとフライトディスク
健康吹き矢もやった。一番、楽しかった
のは健康吹き矢でした。つぎは5回
にやりました。マウスピースは練習生自
くたぬいので、色々しました。すいどは
イムマムをぶつきました。つかい
泳ぎ、おいしかったです。 H.Y



え：田辺愛

たいせうけんがうたごえいはおぼえ
たいけんとおぼえが、れんしゅうちゅう
あこしすれんしゅうちゅうのこ。な
えりこもあつてすけと。まはかろ
あつかひせんが、あこしすれんしゅう
しょうかぬーとおぼえ
なんともれんしゅうをじはに
おぼえつすけと
おぼえ
杉浦要矢



松尾翔

なかまのひろば

ようこそ! New Face

新人常勤職員

越後 郁美さん

今まで様々な社会福祉の現場を経験してまいりましたが、以前携わっていました障害者支援の現場で、再び、自分の力を活かしたいと強く希望しておりました。

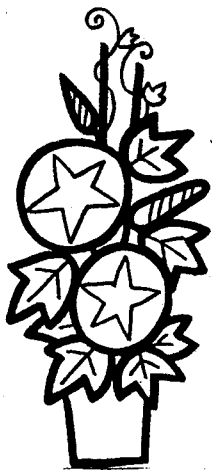
今回、このような機会をいただき、利用者さんたちとともに作業に取り組み、深く関わりながら、今までの経験を活かし、考え、努力し、貢献していきたいと強く思っております。よろしくお祈りいたします。

「あいてにやさしく!」「あいてにやさしいきもちになろう!」「平和がいちばん!」
これが、毎朝朝礼でくりかえし唱和される“ぼてと工房スローガン”です。

4月からお世話になって3ヶ月がたちました。これだ!!と思いました。60年以上も生きて来て気が付かずにいました。憲法ゼミで学び、40年以上公務員・教員生活を過ごしてきましたが、この大事なことを実践出来ずにきてしまいました。

残りの人生を少しでも恩返しが出来ればと思っております。よろしくお祈り致します。

小川町在住 荻野伸二



朝のおはようの挨拶に元気をもらい
もう何年になるかなー

お茶をしながら みんなの笑顔
思い出していくのが嬉しくほっとして
「よし」

70まで頑張ろう

皆さん：この日もよろしくか、鈴木

ボテ工房の みなさんへ

“思わずグスッ◎!と笑みを誘われるあの可愛い会話”と
“わかりやすくていねいに教えて下さるあの笑顔”に
いつも励まされ元気をもらっています。ありがとうございます!!
ドジでズッコケボランティアですが細く長く
お仲間に入れて下さいませ。よろしくお祈り致します。

最年長ボランティア? かたやかとつぶやいている鈴木もはみです。

工房発 クッキー&ケーキ 夏の sweets 2014

Cookies(クッキー)



“ぼてと工房”のクッキーは材料を吟味したこだわりの逸品です。種子島のサトウキビから抽出された粗精糖に良質のバターやマーガリン、たまごは工房近くの筑波大学付属坂戸高校から届く地産地消の安全なものです。甘みを抑え、さっくりと美味しいとご好評をいただいております。季節限定品を含めると20種類のバリエーション。生地作りから仕上げの袋詰めまでひとつひとつを丁寧に手作業で行っています。ティータイムにお楽しみいただく他、贈り物によるこぼれ、イベントにもお役にたっています。是非ご利用ください。

アーモンド	ごま	ココア	オートミール
くるみ	さくさくレモン	オートブラン	スイートポテト
レーズン	モロヘイヤ	かぼちゃ	ベリーベリー
チョコチップ	パンプキンナッツ	シナモン	ココアパンプキン
		アーモンドリーフ	野菜クッキー
		(しょうが にんじん モロヘイヤ 桑の葉・マルベリー)	

♪坂戸のイメージキャラクター、‘さかっち’を型押しした さかっちクッキー が登場!

♡単品は1枚100円

♡5つのバリエーションを楽しめる ‘さかっちクッキーセット’ は1袋500円

♪結婚式や各種パーティーでの記念の手渡しプレゼントにも喜ばれています。ご相談ください。

カットケーキ

オールグレイの香りが喜ばれる定番の紅茶ケーキの他、マンゴーソースやたっぷり入ったドライフルーツのコラボレーションがうれしい、トロピカルな“フルーツケーキ”はぼてと工房の夏のケーキの主流です。食べ切りサイズのカットケーキの他、ご注文があればカットなしの大きなサイズのもの(ホール)もお買い求めいただけます。

すぐにはご用意できない場合もありますから、お問い合わせください。

*ぼてと工房のケーキは、約1ヵ月(30日間)、美味しく召しあがっていただけます。

*夏季のお休みの他にも品切れのこともありますので、お問い合わせください。

*各種イベントにお使いいただけます。お気軽にご相談ください。

*ご予約、お問い合わせともに、tel&fax 049-283-4294 ぼてと工房 まで

Yahoo!JAPAN ショッピングでもお買い求めいただけます!! 検索は JAPANsg

ぼてと喫茶だより



蝉の声が聞こえてくるといよいよ本格的な夏、到来。ぼてと喫茶では冷たい飲み物や香り高いコーヒー・紅茶を用意して、となりのクッキー工房で焼いたおいしいクッキーとともにお待ちしております。午後のひとときはいかがですか?

お電話でご予約いただくと嬉しいです…。

第1回 坂戸市・障害者ふれあいスポーツ大会

2014年 6月15日(日)。この日はちょうど、FIFA ワールドカップのTV Live 放映と重なりましたが、会場の市民総合体育館には149名の人が集まりました。であいの会からはぽと工房のなかまを中心に20名が参加し、半日、楽しくからだを動かすことができました。

体験競技のフライングディスク、ボッチャ、PKサッカーに加え、初めての健康吹矢は「気持ちよくて面白かった!」との、なかまの声。団体戦の風船パレーや大玉おくりは、選手だけでなく、応援する保護者やボラの声も白熱し、どんどん大きくなりました。ダンスとゲームに参加したなかまも大汗をかきながら楽しみました。

企画して下さった諸団体の実行委員のみなさんと市役所の職員さん、女子栄養大の学生や一般ボラのみなさん、お世話になりました。来年も楽しみにしています!!



みんなで輪になって 楽しく踊ろう!!

坂戸市ボランティア連絡会 市外視察研修

日 時 7月3日(木)

参加人数 40数名

大型バス 7:45 出発→10:30 到着・東芝未来科学館→12:40 昼食→13:40 出発

14:00 赤レンガ倉庫・海上保安資料館→15:00 出発→帰着 解散

東芝未来科学館

2014年リニューアルした東芝のあゆみ(江戸時代の先人の偉大な発明家・最新の技術リニア鉄道等)時代の推移を展示した東芝科学館。

懐かしい電化製品や子供達も楽しく学ぶことができ、最新の技術を紹介した科学館。

海上保安資料館

昭和13年北朝鮮の不審船との銃撃戦で自爆した船体の生々しい弾痕後や武器等の展示。話題となっている、集団的自衛権や海洋侵犯について考えさせられる。

当日の参加者2名



ありがとうコーナー

「NPO 法人ぼてと to 地域福祉の会」ならびに「であいの会ぼてと」を、日ごろ支えていただき、ありがとうございます。今年度もよろしく願い致します。

NPO の 26 年度会費およびご寄付を下記の皆様からいただきました。心からお礼申し上げます。

26 年度 NPO 会費納入者

青木多恵子	秋田功	阿部文史郎	池上正子	石川世津子
市毛美知子	岩崎貴大	江口慶子	太田栄子	岡野公一
大橋孝子	大平たつい	小川忍	荻野伸二	加藤玲子
上村靖夫	川越テレビ	川野あけみ	河端幸男	河端健三
堀之内クリニック理事長	木村素子		日下順子	小泉美佐子
斉藤博子	神原豊	庄司弘美	杉浦郁代	鈴木ヒサ子
鈴木素美	(株) セレクト	高久哲郎	高野敏子	田辺シズエ
田辺進	鶴岡啓三	永井ミチ子	長峰定雄	西川忠
西川順子	早坂和子	樋口恵一	兵頭祐子	福井福子
福田直樹	藤井和子	正木芽子	松尾満紀子	満生良枝
三浦京子	水澤栄子	宮野晴義	宮崎弘子	矢澤正義
山岡創	山田幸子	横田正子		

(敬称略) 7月18日現在

ご寄付をいただいた方

川野あけみ 高野敏子 (敬称略)

NPO 会費お振り込みのお知らせ

26 年度の NPO 法人会費 2000 円は下記あてにお振り込みくださいますよう
よろしく願いいたします。

郵便局=郵便振替口座 00120-5-299152

特定非営利活動法人ぼてと to 地域福祉の会

農協 =いるま野農協坂戸支店 0028276

特定非営利活動法人ぼてと to 地域福祉の会

であいの会ぼてと活動報告と予定
(平成26年4月～平成26年7月)

平成26年

- 4月 5日(土) ボランティア連絡会 総会及び定例会
12日(土) であいの会ぼてと 定例会・運営委員会
26日(土) NPO法人ぼてと地域福祉の会・であいの会 定期総会
- 5月 8日(木) 坂戸市障害者スポーツ大会打合せ
10日(土) であいの会ぼてと 定例会・運営委員会
14日(水) 県立川越支援学校 作業所説明会
16日(水) スポーツ大会 近隣施設交流会
22日(木) ボランティアサロン
- 6月 7日(土) ボランティア連絡会 総会及び定例会
14日(土) であいの会ぼてと 定例会・運営委員会
15日(日) 坂戸市障害者スポーツ大会
26日(木) ボランティアサロン
30日(月) つうしん会議
- 7月 3日(木) ボランティア連絡会 市外視察研修
12日(土) であいの会ぼてと 定例会・運営委員会
17日(木) つうしん会議
29日(火) つうしん 印刷・郵送



(編集後記)

うっとうしい梅雨から、学校も夏休みの時期に入りました。
カレンダーを見るともう半年過ぎてしまい「時は、得難くして失い難し」
今年の抱負もいつの間にか色あせ、何を語っていたのか忘れてしまいました。
日々充実した積み重ねを改めて反省し。(A.S.M.K)

編集：であいの会 ぼてと

NPO法人ぼてと to 地域福祉の会

〒350-0214 坂戸市千代田4-6-23-107 電話/FAX 049-283-4294

HP <http://www13.plala.or.jp/poteto/>

二〇一四年七月二十七日発行(毎月八回一、三、五、六、七、九の日発行)通巻第6637号 定価50円
一九八三年 七月十九日第三種郵便認可 発行 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 埼玉県川口市元郷一ノ十ノ十三